



クイーンフライ QUEENFLY

●悪天候に強く、効率的な花粉媒介昆虫●

Queenfly (*Eristalis tenax*) は、ハナアブ類の花粉媒介昆虫で、季節問わず多様な作物を精力的に受粉することができ、自然界に置いて最も豊富で重要な花粉媒介昆虫として世界中で知られてきました。その有効性は、通常の作物及び種子作物において、施設栽培だけでなく、露地圃場でも実証されています。クイーンフライは種子や果実の収量と品質を向上させることができ、また寒冷で曇りが多い気候への対応力により、従来の花粉媒介昆虫(ミツバチやマルハナバチなど)が活発に活動していないときに頼りになる味方となります。継続的かつ長期にわたる訪花を特徴とする強力な採餌行動を示し、全体的な受粉を改善します。

交配実績のある作物



優れたメリット

- ✓ 他家受粉植物にも利用可能です。
- ✓ 花弁識別性の低い花など様々な花に頻繁に訪花します。
- ✓ 低温、低照の条件でも活発性を維持します。
活動温度帯: 10°C ~ 30°C
- ✓ 大型で毛深い体に、花粉を多くつけて飛びます。
- ✓ 適応力と柔軟性に優れており、屋内外問わず効果を発揮します。
- ✓ 人を刺さず、無害な昆虫であり、とても使いやすいです。
- ✓ 病原菌も持っていません。
- ✓ 他の花粉媒介昆虫との併用が可能です。



羽化温度 羽化期間

12 °C 5-10 日

24 °C 2-5 日

※本商品は輸入品のため、お届け時点で羽化している場合がございます。

多様な花色に
誘引される



特徴

厳しい気象状況でも信頼性が高い 全栽培環境対応の送粉者

Queenflyはハチの擬態種で、オスのミツバチに似ていることから「ドローンアブ」とも呼ばれています。目の全長にわたって2本の黒い毛の縦帯が走っているため、*Eristalinus*属の他の種と区別できます。翼幅は15mmで、すんぐりとした体形のハナアブです。胸部と足の密集した体毛は、蜜と花粉を探して花から花へとホバリングする際に、花粉を集めて運ぶのに役立ちます。

Queenflyはほぼ世界中に生息しており、世界で最も広く分布しているハナアブの一種です。北米、南米、ヨーロッパ、オーストラリア、日本などに生息し、ヒマラヤ山脈でも発見されています。

とても活発で効率的な受粉

Queenflyは特に管理が容易な花粉媒介者であり、寿命が長い(最大4週間)ため、頻繁に放飼をしなくて済みます。この種は、隔離された1m²未満の採種施設から大型温室や露地まで、あらゆるタイプの作物栽培環境で使用できます。その温厚な性質は、圃場での理想的な仲間となり、訪花が優しいため花を傷つけません。

Queenflyは、発育に必要な資源を探して絶えず訪花します。特徴的な採餌行動を示し長期間にわたって常に訪花するため、非常に効率的な他家受粉をもたらします。

このハナバチは一年中入手可能で、単独で使用することやほかの花粉媒介者(ミツバチ、マルハナバチなど)との併用、人工授粉法と組み合わせて使用することもできます。最適な活動範囲は10~30°Cのため、ほかの花粉媒介者の活動が低下する冬と春に最適です。

収量増加

使用が簡単

施設環境に適している

高い気温に強い

受粉効率の向上